

平成24年8月定例教育委員会会議録

(1) 開会及び閉会に関する事項

平成24年度8月24日(金) 三好市教育委員会 会議室
開会 午前10時00分
閉会 午前11時35分

(2) 出席委員の氏名

委員長 小松 正 委員長職務代理者 岡本 佳代子
委員 森本 久美子 委員 谷 敏司
教育長 倉本 淳一

(3) 委員及び傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名

◆出席職員

教育次長	田岡 啓子		
学校教育課長	伊原 清幸	文化財課長	中岡 久雄
スポーツ健康課長	辺見 進一	学校教育課企画監	湊 政己
教育指導主事	喜多 雅文	生涯学習課主査	山下 良江
生涯学習課主査	山本 朱美		

(4) 傍聴人 0名

(5) 議事録署名者の指名

岡本 佳代子 委員

(6) 報告事項

①教育長等の報告要旨

(倉本教育長)

7月23日、本庁で臨時議会がありました。旧西岡小学校の後に、中学校を建てることになりましたので、西岡幼稚園、小学校の廃園、廃校の手続きの条例改正と西祖谷中学校の工事に伴う請負工事契約を約2億円の工事についての了解を議会の承認が必要ですので、その承認を求めました。

7月24日、西祖谷中学校の建設起工式があり、小松委員長さんにもご出席していただ

き、ご足労をおかけしました。

7月25日、学校情報基盤整備計画選考審査会を行いました。これは、これからの三好市の学校の情報関係の整備をどうしていくかというコンサルをお願いするという事で、2社の応募があり、株式会社 JMC と、もう1社は NTT 西日本より説明がありました。10名の選考委員が慎重に審議をいたしまして、結果は株式会社 JMC に決定しました。

7月27日、西井川小学校の建設協議を行いました。いまもまだ、建設内容については未定ですが、敷地が非常に狭いため、木造で体育館、校舎を建てるのは厳しい状況です。校舎の一部は、鉄筋にしないといけないかなというところなんです。西田設計が担当で、先日も協議をいたしましたが、いまの運動場に建てるという案といまの校舎を壊し、仮設校舎を建てて、元の場所に建てるという案の2つがあります。運動場に建てるのは仮設校舎もいらないので、経費的にもいいのですが、運動場が狭くなる。それともう1つ、体育館の北側に50坪くらいの土地があります。その土地の購入という問題があるんです。購入することによって、どれだけ校舎が広がるかなどいろいろな問題がありますので、いま協議しているところです。まとめましたらまた皆さまに配置計画等をお知らせいたします。

(岡本委員)

鉄筋の方が効率がいいのですか。

(倉本教育長)

木造でしたら、3階以上は出来ませんが、鉄筋でしたら3階まで出来ます。木造で建てる事が出来ないわけではないのですが、職員の駐車場は取れません。

(岡本委員)

体育館を2階にするというのはどうでしょうか。

(倉本教育長)

道路を挟んだところの土地の日照権の問題が発生します。また、交通量が非常に多いので、騒音の問題があります。出来るだけ体育館は道路側に建てて、校舎を山側に建てるのが基本的な考え方です。

(岡本委員)

いま職員室がある棟のところへ体育館がきて、鉄道の方へ校舎がいくということですね。

(倉本教育長)

鉄道の音も気になりますが、そんなに頻繁ではないので、大丈夫だと思います。これは決まりましたら、ご報告させていただきたいと思います。

8月3日、国文祭実行委員会がありました。今年も11月3日、15時からコンサートを実施するという事で、小中学校の生徒は無料で招待していただけるという話になっております。

8月7日、防災キャンプ視察に行っていました。これは西祖谷中学校で2泊3日だったのですが、食事也非常食ばかりで、体育館で子ども達と2泊3日というのはなかなか先生方も厳しく、大変だったようですが、子ども達は楽しかったようです。本当は楽しい

と思えることを体験させる目的ではなかったのですが、段ボールで自分のベッドを作ったり、いろいろといい経験をしたようです。同じ日に、徳島駅伝対策本部会議を開きまして、今年も参加するという事で、協議をいたしました。

8月10日には、中学校の全国大会出場選手市長表敬訪問をいたしました。池田中学校の柘田くんが800メートルで全国大会に出場しました。結果は2分1秒くらいだったと聞いています。四国で優勝したのですが、全国的なレベルは1分55、6秒くらいようです。ベストタイムを出して予選は通過したのですが、2分はきれず、決勝には残れませんでした。もう1つはご承知のように、井川中学校のサッカーが全国大会に出場しましたが、3-0で千葉県代表に敗れました。しかし、いい経験をしましたので、また来年がんばっていただきたいと思います。

8月20日、人形浄瑠璃公演実行委員会がありました。昨年と同じように、チケットの販売は1枚千円で、婦人会の方が中心になってやってくれます。目標は500枚の50万円。100万円は市から補助があるのですが、残り100万円を去年も無理言ってお願いした協賛金1万円で、2枚の特別招待券を差し上げて、協賛の企業、個人にお願いしています。教育委員さんにもご無理言いますが、協賛金の方で、お願いできましたらありがたいと思います。

8月22日、中学校弁論大会が開催されまして、三好郡、三好市の8校の代表が出場しました。今年は山城中学校の森下ひなよさんがグランプリに輝きまして、9月18日の県大会に出場することになりました。森下さんは、「ふるさと再発見」という題で、大歩危や上名地区を中心とした妖怪まつりなどをうまく内容に取り入れて、素晴らしい発表をしていただきました。

8月23日、三好教育研究発表会がありまして、小松委員長さんに出席していただきました。3人の方の発表がありました。1人は東祖谷小学校の森永直美先生が学校の統合に向けてのいろいろな取り組み、それから統合してからの実践を踏まえての家庭や地域、中学校との連携を中心とした特色ある学校づくりという内容で素晴らしい発表でした。2人目は池田中学校の丸岡美枝先生が、人、社会、自然のつながりの中で、人間性を育むという活動。いままで人権教育や福祉教育、環境教育などそれぞれやってきましたが、これからは関連付けて大きな共通テーマでもって、やっていくことが必要であるということの実践を踏まえての発表でした。3人目は、去年まで研究所におられ、現在昼間小学校の山口恭史先生の発表がありました。講演は、元プロボクサーで坂本博之さん。世界チャンピオンの畑山さんとタイトルマッチで負け、世界チャンピオンにはなれなかったのですが、平成のKO王と言われたすごい方で、家庭の事情で乳児園に預けられ、大きくなってからは養護施設で生活をされました。自分の生い立ちを踏まえながら、今は養護施設などをいろいろな面から支援する活動をされており、素晴らしい講演でした。以上、報告事項とさせていただきます。

(小松委員)

昨日の講演会は本当に素晴らしかった。私は初め、元ボクサーの方の話と聞いて、根性論かなにかの話かと思っていたが、そうではなかった。これまでも、辻井伸行のお母さんのお話のように、自分の子どもが重度身障者で生まれた方の素晴らしい人権教育のお話を聞きましたが、その方々に負けない感動的な講演でした。話し方は決して流暢ではないのですが、内容はすごいことを言っている。この方は本当に苦労してすごい人だなと感じました。一流の人というのは何かやったとかだけではなく、精神的な面が、人に対する愛情だとか、運命に負けない強い気持ちだとか、すごい。教育長さんも、一度生徒に講演を聞かせたいと言っていました、小学生には難しいかもしれませんが、中学生なら聞かせてあげられたらいいのではないかなと思います。

(倉本教育長)

行事予定は、今日の午後よりコンプライアンス研修会がありますので、よろしくお願ひします。場所は保健センターになります。車で10分もかかりませんので、よろしくお願ひします。8月27日、市民大学講座が中央公民館で、9月8日は学術・文化学会講座があります。次回、定例教育委員会の日程ですが、9月21日でよろしいでしょうか。

(一同)

大丈夫です。

(倉本教育長)

では21日の金曜日でよろしくお願ひします。以上です。

(6) 議題および議事の概要

【議題】

- ① 平成24年7月定例会議事録の承認について
- ② 平成24年9月三好市議会補正予算の概要について
- ③ 平成24年度就学援助費交付対象者の認定について
- ④ 全国学力調査の結果について
- ⑤ その他

(小松委員長)

続いて、議題に移ります。まず、1番の平成24年7月定例会議事録の承認についてですが、事前に送っていただきましたが、変更点などありましたらよろしくお願ひします。

(委員)

ありません。

(小松委員)

では議題1番は承認されました。次に議題2番、平成24年9月三好市議会補正予算の

概要についてです。説明をお願いします。

(伊原課長)

予算の概要説明書、9月市議会ですが、9月の補正につきましては、学校教育課と文化財課の2つの課ですが、学校教育課は私が説明させていただきます。教育振興費で小学校費、中学校費。子ども体力向上重点支援事業で、県の補助事業を受けて実施をしているのですが、今回、小学校は芝生小学校、白地小学校、中学校は西祖谷中学校が採択されました。この事業は川崎小学校も応募していたのですが、今回については不採択になり、この3校が事業を実施していただくということになります。内容につきましては、芝生小学校では、サッカーボールやドッジボール、大縄跳びの購入。白地小学校がソフトハードルやフラッグフットボールセットなど、運動用品を購入して、その用品を使いながら、授業の中で子ども体力の向上を図るという事業計画をだしていただいています。西祖谷中学校につきましては、出来るだけ希望で徒歩通学を推奨するという事で、万歩計を全生徒に配布し、学校全体で運動や歩行時間を増やす取り組みを実施する。また、曜日を決めて、全校でもランニングの実施に取り組む、それで体力向上を目指すということが、事業計画に出されておりました。1つの学校で、200,000円の補助金が出ます。

同じく教育振興費の中で、2番目の三好地区広域振興事業補助金ということで、小学校費、中学校費それぞれ備品購入費で、小学校では1,663,000円、中学校が950,000円を補正し、図書購入にあてていただきます。これは、三好市単独の予算とは別に、三好市の広域連合の方から補助金をいただいて、その補助金を均等に分割して配分しています。次のページになりますが、小学校の建設ということで、馬路小学校の校舎耐震改修工事設計委託料が1,970,000円を計上させていただきます。馬路小学校の現校舎は、昭和55年3月に完成した校舎で、旧の建築基準で建設されており、耐震化の必要があります。現校舎はRC構造2階建て、892㎡ですが、これの耐震化を図るために、この補正で設計委託料1,970,000円。中身につきましては、国の補助が3分の1で三好市が残りの3分の2になります。改修工事は平成25年度を予定しております。なお、体育館は平成10年の建設で、耐震化の必要はありません。ちなみに、平成24年度の生徒数は18人となっております。学校教育課は以上3点です。

(中岡課長)

続きまして、文化財課でございますが、補正で予算をお願いしている項目が2点ございます。

事業内容でございますが、文化財史料文献類等整理保存事業といたしまして、緊急雇用創出事業という国からの交付金をあてて、実施する事業でございます。内容につきましては、補正額は、1,257,000円でございます。臨時職員を雇用するという内容でございます。1名の雇用ということで、賃金が867,000円、通勤手当、需要費、使用料、賃借料、公用車をリースするためのリース料などを予定しております。中身につきましては、昨年度から実施しています、井川町辻地区町並み調査事業で、資料の提供を呼

びかけ、ご協力依頼をしたところ、そういうところの写真、資料や文献関係がございましたので、担当職員ではデータの整理の処理がどうしても出来ない。また、貴重な資料でございますので、後々利用できるような形で、PDF にデータを保存させていただいて、データで保存する形になります。そして原本をお返しするというので、臨時職員を雇う必要があるのですが、ちょうど緊急雇用措置法というのが、国から下りてきて県の補正予算により、配分されると聞きまして、申し込みしたところでございます。また、それにあわせて旧廃校の小学校施設内の主に校長室なのですが、校長室に残されている写真とか一部書類もあるようですが、その書類などの整理をしてきちんとした管理を行うというところでございます。

2 点目でございますが、大歩危峡の天然記念物区域設定に係る調査測量業務ということで、業務委託料 4, 639, 000 円の予算補正をお願いするものでございます。内容につきましては、今年度の当初予算において、296, 000 円委託業務の予算をお認めいただいた際に、教育委員さんにもご説明させていただいたと思いますが、大歩危、小歩危の貴重な地質鉱物資源を国の特別天然記念物に指定することについて意見具申をするという方向で調査をしてきたわけですが、この内容で進めておりましたところ、実測図、地籍調査に匹敵するくらいの実測図を作成し、文化庁への申請の際、添付する必要がでてきました。その業務委託料ということで、当初は全長で、大歩危の下名から小歩危の鮎戸橋付近まで約 10 キロの指定を目指しておりましたが、その範囲の中で、地質的な価値のある範囲であって、かつ土地所有者の承諾が得られるところということになり、河川の境界を設定する必要があり、境界を設定して範囲を実測いたします。現地に入りまして、県の河川管理者、県の管理者の立ち会いの元、実測するというようなことで、現在、協議調整中でございます。調整が整い次第、業務に移りたいというような予算でございます。延長は 500 メートルの範囲で、指定できるのでないかと思います。補正額については、当初の 296, 000 円をお認めいただいておりますので、設計金額としては、4, 935, 000 円の額ですが、不足分の 4, 639, 000 円の予算の補正をお願いする内容でございます。以上です。

(小松委員長)

何か、質問はありませんか。

(谷委員)

文献の調査の話ですが、休廃校の小学校っていうのは、全廃校、休校の学校ですか。

(中岡課長)

そうですね。三野の東谷小学校とか、東の方の小学校などたくさんあります。

(森本委員)

1 年間ですか。

(中岡課長)

いえ、半年です。その事業でしますので、半年になります。

(岡本委員)

雇う人は1名ですか。

(中岡課長)

はい。1名です。

(谷委員)

例えば、東祖谷だったら、廃校が多いので、どうなるのか気になりますので、是非進めていただきたい。

(中岡課長)

書類や写真の保管場所が校長室、職員室ですが、主に校長室らしいです。そういうのがあるというのを聞いております。

(岡本委員)

学籍簿などはどこに保管しているのですか。教育委員会が保管しているのですか。

(伊原課長)

新しい学校へ引き継いでいます。

(岡本委員)

例えば、三野の東谷小学校だったら、随分前から廃校になっていますよね。東谷小の重要書類はどうなっているのか。

(教育長)

三好市になってからは、統合したところへ持っていっているが、書類は一応整理をして校長室へ保管だが、重要な書類は、耐火金庫に保管し、その他の書類は校長室へ保管しています。

(谷委員)

いまもその学校の耐火金庫に保管しているのですか。それとも新しい学校においているのでしょうか。

(教育長)

いま言ったように、学籍簿のような法令で保存が必要とするようなものについては、新しい学校での保存になります。

(岡本委員)

それは統合の時はそう出来ますが、休校になった場合はどうなのでしょう。

(教育長)

休校になった場合、例えば、上名小の場合でしたら、下名小へ子どもたちは行っているので、保存が必要なものも下名小へ持っていっている。西山小の関係書類だったら池田小で保存している。

(岡本委員)

佐野小学校であれば、どこですか。

(伊原課長)

指定校に決まりました白地小学校です。

(岡本委員)

個人的な話になりますが、私が昔、臨時職員で小祖谷小学校へ行って、何十年かして訪れたが、講堂へ校長先生の写真を全部並べて、荒れ果てていました。あれは、西祖谷のものですが、休校・廃校になった時に写真などは外して整理するなりしたらいいなと感じました。その点これを整理してもらえるとありがたい。

東谷小学校も昔、私が王地小学校へ勤めている時に、休校になったんですが、そこは1年かけてきちんと整理されていました。芝生小学校や王地小学校とか太刀野山小学校に必要な備品や図書とかをもらいに行って活用させていただきました。急に休校が決まった場合は、なかなか難しいとは思いますが。東谷小学校は、建物を資料館にして活用しているのですよね。

(辺見課長)

はい。1階廊下を資料館として活用しています。

(岡本委員)

これは、特に重要なものを整理する事業ですか。

(中岡課長)

なくならないように、重要と思われるものを記録に残します。

(小松委員長)

他はどうですか。図書費についてですが、毎年同じように、補正予算では、広域連合の補助金とあるのですが、ちょっと仕組みがわからないので、教えていただきたい。広域連合はどこからこのお金が出てくるのでしょうか。

(伊原課長)

基金で積みためた分の運用で収入として入ってきていると思います。

(小松委員長)

県が広域連合に予算を配分するというのではないのですね。

(伊原課長)

元々、広域連合に、国か県か資金を投入して基金を作った経緯があるわけです。その基金の配分で中身としては学校図書にこれだけとか、他の文化事業とか、商工会活動とかに対して、いろいろな助成制度を広域連合の基金の中からされていると思いますが、ちょっと詳しいことは聞いていません。

(小松委員長)

その基金というのは、国や県とか、どこかから支援金がなければなくなってくると思うのですが、それはどうなのでしょう。いまでも続いていけるようになっているのですか、それともいまの基金が、なくなればそれで終わりなのでしょう。

(伊原課長)

広域連合のいまの施策の中は、確認出来ていないのですが、元々基金を積み立てて国、

県の補助金をそれにプラスした形で、基金運用をしていたと思います。いまの基金の状況については確認出来ていません。三好市の場合、三好広域連合の広域振興費を補助金にしていますが、三好市も学校図書の方については交付税に算定されて、収入で入ってきています。その分で図書に関しての予算を確保しながら購入しているという状況です。

(小松委員)

これから、市の独自とか交付金とかは別にして、この部分が将来安定していなくて、なくなるのだとしたら、市独自で考えていかななくてはいけないと思うのですが、どうでしょうか。生徒数が減ってくるので、かならず金額も減りますよね。将来を見据えて、ずっとこのやり方という制度なのかということが、少し疑問に感じました。

(伊原課長)

そうですね。これは、広域連合からの補助金がいつまで続くかがまだ確認出来ていません。

(小松委員長)

初めにシステムがわからず聞いたことがあるのですが、これが前提で、図書の予算とか全体の予算を考えていると思います。なくなった時に考えるでもいいのですが、いつまで続くかどうかだとちょっと考えておかなければいけないのではと思います。

(伊原課長)

その件については、また広域連合に確認をして進めさせていただきたいと思います。

(教育長)

広域連合の補助金がなくなれば、当然市の方でやらなくてはならない。今は、この2つの財源で、学校に配分しているのですが、広域連合で予算を立て、議会の承認を得ないと執行できないので、三好市教育委員会が当初予算を組んでいる予算と時期がずれるので、2本立てになるのですが、学校への配分は1本でやっています。

(小松委員長)

よろしいですか。では、この件については教育委員会では承認でよろしいですか。

(委員)

「承認」

(小松委員長)

承認されました。では次、3番目の平成24年度就学援助費交付対象者の認定についてです。この件については、秘密会とします。

(小松委員長)

議題3につきましては、承認されました。

続きまして、議題4番の全国学力調査の結果についてです。この議題からは、秘密会を解きます。説明をお願いします。

(教育長)

資料を見ていただけますか。平成24年度全国学力・学習状況調査結果についてという

ことですが、これもご存じのように学力調査の結果については公表しないということになっておりますので、秘密会でお願いしたいと思います。

(小松委員長)

では秘密会とします。

秘密会を解きます。

以上で、委員会に出された議題は終了しました。

他にないですか。では以上で、8月の定例会を終わります。お疲れ様でした。

以上